

第3回

開催日 平成22年2月18日(木)

15:00~17:10

開催場所 JST東京本部 役員会議室

議事次第

1. 議事録の確認
2. 今回の点検の趣旨説明
3. 事前抽出案件(4件)についての点検

配付資料

- 資料1 第1回、第2回議事録
- 資料2 契約における実質的な競争性確保に関する点検—物品調達を中心として
- 資料3 点検項目
- 資料4 契約関係書類19件分

平成21年度上半期(4月~9月)に締結した物品調達等に係る一般競争契約であって、落札率が90%以上、かつ入札における応札者が2者以上であった案件(全19件)に関し、総務省行政評価局からの要請に基づき契約監視委員会にて点検を行うこととなった。

今回は、点検対象の19件の中から事前に各委員の意見を求めて要求の多かった契約4件を選び、全委員による契約書類の精査を行った。4件の契約案件は下記の通り。

1. 平成21年度トナーカートリッジ(EPSON LPA3ETC15L)の購入
2. J-GLOBAL用アクセスログ解析ソフトウェアの購入
3. 在庫消耗品購入契約(平成21年4月1日~平成22年3月31日)
4. 平成21年度液体ヘリウム購入

質疑応答

1. 平成21年度トナーカートリッジ(EPSON LPA3ETC15L)の購入

Q) なぜカートリッジの品名を特定しているのか、納品数量が少ない部署があるので一本にまとめるともう少し安く契約できたのではないか?

A) 純正品でないと保守が受けられないこと、全部署の過去の年間使用量を元に契約単価を決めているので既に大量購入のメリットは受けていることを説明した。

2. J-GLOBAL用アクセスログ解析ソフトウェアの購入

Q) なぜ解析ソフトウェアを特定しているのか?

A) 要求部署において各種解析ソフトを比較した結果、目的に合うものは当該ソフトだけで情報化統括委員会の審査でも同様の結論であったことを説明した。

3. 在庫消耗品購入契約（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

Q) 参考見積はどこからとったか？ 予定価格は妥当な金額か？

A) 参考見積は仕様書を取りに来た全業者に依頼した、予定価格は参考見積と昨年度の単価と比較して安価な金額を採用していることを説明した。

4. 平成 21 年度液体ヘリウム購入

Q) 予定価格の算定方法は？

A) ヘリウムのほとんどが米国からの輸入であり、今回は生産地のヘリウム価格が上昇する一方で円高の影響もからんで予定価格の算定には苦労したが、他法人の契約実績なども参照しながら結果的に前年度と同額とした。結果として応札者には厳しい金額となったことを説明した。